

玉本なるみ

です

連絡先：日本共産党北地区委員会 ☎075 - 432 - 3261

2018年 4月①号



6期目、当選！たくさんの応援をいただき、ありがとうございました。

4月7日投開票で行われた京都市議会議員選挙におきまして、5654票をいただき当選させていただきました。訴えた公約の実現に向け、全力で取り組む決意です。得票数は減となりましたが、議席数は自民党が1、共産党は井坂市議と私の2議席、公明1、立民1、維新1となりました。

若者、子育て世代の方々を応援する政治の実現では、子どもの医療費支給制度は中学校卒業まで外来の窓口負担も無料にすること。全員制の中学校給食の実現を進めます。**暮らしの応援**としては、災害に強い街づくりと、市バス運行の拡充と敬老乗車証を今の制度を守ることに力を尽くします。**命を大切に政治の実現**では、国民健康保険料、介護保険料の引き下げと制度の改善を進めます。安倍政権が景気が低下しているにも関わらず、**消費税増税は辞めるべき**ですと、訴えました。市民の目線でしっかりと取り組んでいきます。



4月6日最終日にビブレードで訴える玉本なるみ候補

安倍首相を忖度し、国民の税金の私物化は許せません。

国土交通省副大臣が、安倍首相と麻生大臣の出身地である下関と北九州を結ぶ道路を国直轄事業として、安倍首相に忖度して、予算をつけたと、後援会の会場で発言していたことがわかり、大問題になりました。副大臣は辞職されましたが、議員は辞めていません。国民には消費税増税など負担を増やしておきながら、国民の税金を大臣達を忖度して、予算をつけるなんて許せません。やっぱり一刻も早く、安倍政権を終わらせなくてはなりません。

とうとう、京都市は自衛隊に2019年度に18才と22才の若者の個人情報宛名シールにして渡してしまいました。

4月8日に京都市が自衛隊京都地方協力本部に、多くの市民や団体が反対していた2019年度に18才と22才になる若者の個人情報（住所・氏名）を宛名シールにして、提出しました。

日本共産党市会議員団は、京都市の暴挙に強く抗議するとともに引き続き名簿提供方針撤回を求める。幹事長談話を発表しました。

現在の自衛隊は安倍政権の安保法制強行によって海外で武力雄牛を伴う任務を負っており、京都市の協力で自衛隊へ入隊した若者が海外で戦闘地域へ送られ命の危険にさらされるおそれがあります。3月13日の京都市会市長総括質疑で副市長がこういった事態が起こる可能性について、「ゼロであるとは思わない」と答弁していました。

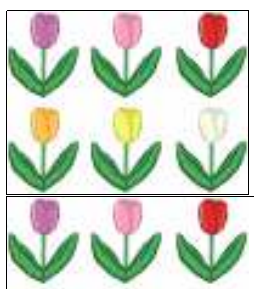
実際、自衛隊からの要請に対して、名簿提出をしていない自治体もあるのに、京都市の対応は許せません。引き続き、情報提供方針の撤回を求め取り組みます。

つぶやき：最近多い相談に借家に住む方から、家主から、立ち退きを言われ、困っているという相談が増えています。しかも、高齢者の方で、住み慣れた家を出るように言われても、高齢者の一人暮らしの方の住むところは簡単に見つかりません。家賃もかなり高くなることや、住み慣れた地域にちょうど良い物件があるとは限りません。そもそも、高齢になってからの転居はダメージが大きすぎます。

大家さんともめたくないで、新しく住む家を探して欲しいという相談の場合もありますが、引っ越ししたくないと、裁判になるケースもあります。

当然、居住権がありますから、転居する必要はありませんが、何度も引っ越しするように強要されたり、嫌がらせもあり、つらい思いをされる方もあります。

そういった方を支援する『借地借家人組合』という団体があり、担当者の方が相談者に寄り添って支援をしてくれるので、連携をして対応しています。



安部政権のすべてが輝く社会づくりの政策も、根本的な対策にまったくなくないません。もっと国の施策として、子育て世代を応援することや女性の貧困対策なしに、真の平等にはなりません。しかも、女性だけでなく、国民全体の貧困も進んでいきます。新しい議員団は新人の方も2人加わり、パワーアップして頑張っています。

全国的に、女性の議員数が少ないことに注目されるようになり、京都市議会議員選挙で、我が日本共産党市会議員団18人で、女性が半数の9人となりました。

アンテナ

